

少
高

入居者
(被保険者)

メディ

メモリ

保険者として生命保険に加入する方が一、

保険者として生命保険に加入する。空室に悩む家主などから直接問い合わせが入る。家主だが、加入に当たっては被保険者となる入居

独居老人の入居拒否問題への対策として、同社は全国で提案していく構えだ。

外壁の建物診断、サーモグラフィで低コスト化

建物診断センターB I G(運営会社・わを)が行っている赤外線外壁調査の受注件数が増えている。2008年4月、建築基準法12条の改正により特殊建築物等は竣工または外壁改修等から10年後に外壁を全面打診等により調査・報告することが義務づけられた。老朽化によるはがれやタイルの落下事故を防止するための調査だが、大型

物件の場合、足場を組んで建物の外壁すべてをハンマーでたたいて調査するのは手間と費用がかかる。B I Gが

とは、赤外線サーモグラフィで建物を撮影して温度を測定し、外壁の浮き部を調べる手法。仮設足場を設置せ

「法改正から3年間で今年で終了します。報告が義務付けられている建物の規模は行政により異なりますが、大型賃貸マンションが対象となることもあり、注意が必要です」

建築法改正により大型マンションも調査義務化

行う赤外線調査建物診断は、足場設置打診調査の4分の1程度の費用で済むことから、大型物件所有者からの需要が増えつつあるという。

ずには調査できる。費用は5、6階建て30戸、対象面積1000㎡前後の場合で、30万円から40万円程度。中・小型ビルの場合1日で調査を終えることができる。

I G 関東・北海道エリア統括本部 統括責任者 吉田大騎氏)



▲可視画像



▲赤外線画像

赤外線調査建物診断

る。

者 吉田大騎氏)